

## 令和7年度広島市民賞受賞者名簿

[個人] (3名)

(敬称略)

番号	氏名	住所	功績概要
1	中本 信子 <small>なかもと のぶこ</small>	広島市 南区	<p>同氏は、昭和20年(1945年)8月6日、当時3歳のときに山手町で入市被爆した後、広島市役所に入庁し、平成13年(2001年)から、原爆死没者名簿の記帳を始め、核兵器廃絶と世界平和を願い、一人一人丁寧に記帳したいとの思いを込め、25年連続25回にわたり原爆死没者名簿の記帳に尽力している。</p> <p>同氏のこうした活動は、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念する本市事業の推進に大きく貢献している。</p>
2	渡部 和子 <small>わたなべ かずこ</small>	広島市 西区	<p>同氏は、故 佐伯敏子氏が長年続けてこられた原爆供養塔の清掃奉仕の思いを受け継ぎ、平成14年(2002年)9月から20年以上にわたり、ほぼ毎日一人で約2時間をかけて原爆供養塔の清掃奉仕活動を続け、原爆死没者の供養に尽力している。</p> <p>同氏のこうした活動は、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念する本市事業の推進に大きく貢献している。</p>
3	近賀 ゆかり <small>きんが</small>	広島市 中区	<p>同氏は、豊富な運動量とスピード、1対1に強い安定した守備力をいかし、サッカー女子日本代表のディフェンス陣を牽引する中心選手として、国際Aマッチ通算100試合に出場し、平成23年(2011年)に開催されたFIFA女子ワールドカップでの優勝に貢献するなど活躍した。</p> <p>令和2年(2020年)12月にサンフレッチェ広島レジーナに入団し、同クラブ初代主将として3季務め、国内外で培った技術や経験をチームメイトに伝えるとともに、令和5年(2023年)、令和6年(2024年)にはWEリーグカップ連覇を達成するなど、精神的支柱としてチームを牽引した。</p> <p>令和7年(2025年)5月に行われた自身の引退試合では11,879人を動員し、同クラブのWEリーグシーズン総入場者数記録60,307人の更新に貢献した。</p>

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島市スポーツイベントボランティアの会	広島市 中区 (25 年)	<p>同団体は、広島市内で開催されるスポーツイベントにおいて、来場される観戦者等に対し、案内等の運営支援をボランティアで行っており、平成 12 年（2000 年）に広島市主導により活動を開始した後、市民主体の取組へと発展し、令和 2 年（2020 年）に現在の団体を設立した。</p> <p>活動開始から 25 年を迎えた現在、広島東洋カープやサンフレッチェ広島の主催試合などで延べ約 1,900 回の運営支援を実施し、延べ約 60,900 人が参加している。</p> <p>同団体のこうした活動は、イベント主催者からも真摯な取組や向上的な姿勢が高く評価されており、本市における地域のスポーツ・レクリエーション活動の振興に大きく貢献している。</p>
2	東区緑のボランティアの会	広島市 東区 (25 年)	<p>同団体は、東区の豊かな自然環境をいかし、緑と水に親しむ環境づくりを目指すボランティア団体であり、平成 12 年（2000 年）から、環境保全活動や自然の魅力発信などに取り組んでいる。</p> <p>団体発足以来、ハイキングコースの案内板約 50 基及び樹木銘板約 1,100 枚の設置・保守を行い、散策環境を整備するとともに、ガイドブックやコースマップを作成し、区内外に広く情報発信している。</p> <p>また、モリアオガエルの卵の観察など市民を対象とした自然観察会や、尾長山や二葉山での地域の小・中学校等の児童・生徒延べ約 1,800 人を対象とした学習支援活動などを通じて、地域に根差した環境教育に取り組んでいる。</p> <p>同団体のこうした活動は、本市の自然環境の保全及び地域の魅力向上に大きく貢献している。</p>
3	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館被爆体験記朗読ボランティア	広島市 中区 (21 年)	<p>同ボランティアは、平成 17 年（2005 年）3 月から国立広島原爆死没者追悼平和祈念館等において、修学旅行生等を対象に、日本語又は英語で、被爆者やその遺族等が記した被爆体験記や原爆詩の朗読会を行っている。</p> <p>朗読会は、読み聞かせをするだけでなく、参加者自身が朗読を体験することで、心と言葉により原爆被害の深刻さと平和の大切さを伝えるものとして、好評を得ている。</p> <p>活動開始から 20 周年を迎え、これまでに延べ 31 万 7 千人を超える方々が参加している。</p> <p>同ボランティアのこうした活動は、被爆体験の継承及び平和意識の醸成を目指す本市事業の推進に大きく貢献している。</p>

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
4	広島市立基町 高等学校普通科 創造表現コース	広島市 中区 (18年)	<p>同コースは、平成 19 年度（2007 年度）から（公財）広島平和文化センターが実施している「被爆者と高校生との共同制作による『原爆の絵』」事業に、ボランティアとして参画しており、これまでに、延べ 107 名の被爆者から証言を聞き取り、222 点の作品を制作している。</p> <p>制作した「原爆の絵」は、被爆体験証言者や被爆体験伝承者による講話に活用されているほか、原爆展を開催する全国の自治体や市民団体などに貸し出されている。</p> <p>同コースのこうした活動は、本市の「被爆の実相を守り、広め、伝える」施策の推進に大きく貢献している。</p>
5	サンフレッチェ 広島レジーナ	広島市 中区 (4年)	<p>同クラブは、創設 3 年目となる令和 5 年（2023 年）に、初のタイトルとなる WE リーグカップを制し、翌年の同カップを連覇した後、令和 8 年（2026 年）1 月には、皇后杯 JFA 第 47 回全日本女子サッカー選手権大会で初優勝し、3 シーズン連続でのタイトル獲得を成し遂げた。</p> <p>また、2024-25 シーズンでは、選手が中心となり、試合当日のイベントや演出、地域交流、告知活動などを行う「観客動員 1 万人プロジェクト『自由すぎる女王の大祭典』」を実施し、目標を大きく上回る 20,156 人を動員するなど、WE リーグのクラブ別シーズン最多総入場者数を更新する 60,307 人を記録した。</p>